

第 23-1(接続機、スイッチ等)小委員会 審議結果報告書

平成 26 年 3 月 12 日

一般社団法人 日本配線システム工業会

1. 担当分野

(一社)日本配線システム工業会が、電気用品調査委員会の国内小委員会として担当している分野を表 1 に示す。

表 1 担当分野

小委員会	IEC		名 称
	TC	SC	
23-1	23		電気用品
		B	プラグ、コンセント及びスイッチ
		G	機器用カプラ
		H	工業用プラグ及びコンセント
		K	電気エネルギー効率化製品
23-2		A	電線管
23-3		J	機器用スイッチ
17-2		E	住宅用遮断器

【備考】従来の、SC 23C(国際形プラグ及びコンセントシステム)の検討・保守などは SC 23B で、SC 23F(コネクタ:IEC60998・IEC 60999 等)の検討・保守などは TC 23 で行うこととなり各 SC は解散した為、表1からは、削除した(SMB にて批准されている。)

また、新たな SC として SC 23K(電気エネルギー効率化製品)が発足したので、表1に追加した。

なお、SC 23K の国内審議団体は、(一社)日本配線システム工業会が、担当する。

2. トピックス

(1) 国内審議関連(「電気用品の技術基準」の分野)

現在改正審議中の案件を表 2 に示す。(なし。)

表 2 審議対象案件一覧

小委員会	規格名	名称	区分
23-1	—	—	—

(2) 国内審議関連(「JIS」の分野<別表第十二採用予定 JIS 他>)

現在改正審議中の案件を表 3 に示す。(なし。)

表 3 審議対象案件一覧

小委員会	規格名	名称	区分
23-1	—	—	—

【トピックス】

・特記事項なし。

【他の小委員会に特に連絡したい事項等】

・特記事項なし。

【今後の予定】

・第 23-1 小委員会 2014/5/12

(3) IEC 関連

平成 25 年 11 月 6 日～平成 26 年 2 月 20 日の期間中の IEC 規格原案に対する回答状況を表 4 に示す。

表 4 IEC 規格原案の回答状況(概要)

コメント	NP		CD		CDV				FDIS				Q				DTR, DC 等		総計			
	賛成		反対		賛成		反対		賛成		反対		賛成		反対		賛成			反対		
	有	無	有	無	有	無	有	無	有	無	有	無	有	無	有	無	有	無		有	無	
第 23-1 小委員会	0	0	1	0	0	0	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計(件)	1		0		4				0				0				0		5			

【備考】 NP: New Work item Proposal、 CD: Committee Draft
 CDV: Committee Draft for Vote、 FDIS: Final Draft International Standard
 DC: Document for Comments、 DTR: Draft Technical Report
 PAS: Publicly Available Specifications、 Q: Questionnaire

【トピックス< 反対コメント他 >】

・特記事項なし。

【他の小委員会に特に連絡したい事項等】

・特記事項なし。

【参加した国際会議審議】

・SC23B MT4(スイッチ、プラグ・コンセントの IEC 規格のメンテナンス)・ 2013/10/16～18 ニューデリー (インド) 主な決定事項を次に示す。

ーIEC 60669’s (スイッチ)

・モーターを負荷としたときのスイッチの試験方法を検討・継続審議とした。

ーIEC 60884’s(プラグ・コンセント)

・米国の電線規格による AWG サイズの電線の取り込み検討を行い、60884-1(プラグ・コンセント)の DC として配布することとした。

【今後の予定(国際会議出席予定等)】

・SC 23B MT4(スイッチ、プラグ、コンセントの規格メンテナンス) 2014/3/15～17 ロンドン(英国)

IEC 規格原案の回答状況

TC/SC	番号	種別	文書タイトル / 提案概要	審議概要(*1)	対応	コメント
23B	1114	CDV	<p>Amendment 2 to IEC 60669-2-1 Ed. 4: Switches for household and similar fixed electrical installations - Part 2-1: Particular requirements - Electronic switches 家庭用及び類似用途の固定設備用スイッチ - 第2-1部：電子スイッチの個別要求事項 第4版 追補2</p> <p>追補内容：安定器内蔵ランプ，安定器別置ランプを負荷とする場合の追記事項を，3定義，5試験に関する一般注意事項，7分類，8表示，17温度上昇，18開閉容量，19平常動作，26EMC，101異常状態に規定。 また，附属書 BB（情報）に、平常動作に用いる試験回路開発の根拠等の説明，附属書 CCに DLT（電力線搬送のデジタルコントロール電子照明）に関する追加要求を記載した。 2013-12-6</p>	<p>・安定器内蔵ランプ，安定器別置ランプを負荷とする場合の追記事項は，妥当であり変更を支持する。</p>	賛成	なし
23G	330	CDV	<p>IEC 60320-1 Ed. 3: Appliance couplers for household and similar general purposes - Part 1:General requirements 家庭用及びこれに類する用途の機器用カプラー 第1部一般要求事項 第3版</p> <p>19 閉閉性能：試験電圧を“275V”から“1.1×定格電圧”に変更。20 通常操作：試験電圧を“250V”から“定格電圧”に変更。21 通電部の温度上昇：(新規追加)標準化されていないカプラーについては、メーカー指定したものを使用。22 コード及びその接続：電線の表の備考欄に“AWG 電線の断面積は附属書 E 参照”の追記。23.4 衝撃エネルギー：公差“±0.05J”を追記。附属書 E：AWG 電線を記載した付属の追加。 2013-11-15</p>	<p>・内容変更は，妥当であり変更を支持する。 ・なお，米国の AWG 電線サイズが附属書で追加されたが，さらに我が国の電線サイズを備考で追加記載要求するかは，今後の検討事項とした。</p>	賛成	なし
	331	CDV	<p>IEC 60320-1 Ed. 1: Appliance couplers for household and similar general purposes - Part 3:Standard sheets and gauges 家庭用及びこれに類する用途の機器用カプラー第3部：スタンダードシートとゲージ</p> <p>14.1 機器用カプラーの表：コードにゴム電線“60245IEC89”を追記。5 機器用カプラーのスタンダードシート：単位 mm を追記。図の番号を変更。図 5.1.16：誤記入 1.5±0.3 を削除。図 5.1.37：抜けていた寸法 2±0.05 を追記。6 ゲージ：追記，ゲージ材料が鋼材である。図面の寸法単位 mm を追記。6.1.12：推奨“許容差”を追記。 2013-11-15</p>	<p>・内容変更は，妥当であり変更を支持する。</p>	賛成	なし

23H	296	CDV	<p>IEC 62196-1 Ed.3: Plugs, socket-outlets, vehicle connectors and vehicle inlets - Conductive charging of electric vehicles - Part 1: General requirements プラグ、ソケットアウトレット、車両コネクタ・車両インレット - 電気自動車のコンダクティブ充電 - パート1：一般要件 第3版</p> <p>IEC62196-1 は 2011 年 10 月に第 2 版を発行したが、IEC 62196-3 (DC 充電用車両カブラ) の規定内容を反映・整合させる内容を包含している。</p> <p>2013-11-22</p>	<p>(コメント)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・24 温度上昇：コネクタのオスピンは公差内最小径を使用、受けは接圧の最小品を使用し前処理で 250 時間の高温高湿暴露を実施することを提案した。 	賛成	あり
	298	NP	<p>Plugs, socket-outlets, and vehicle couplers - conductive charging of electric vehicles – Part 4: Dimensional compatibility and interchangeability requirements for a.c., d.c. and a.c. /d.c. vehicle couplers for Class II or Class III light electric vehicles (LEV) 電気自動車コンダクティブ充電用プラグ、コンセント、車両カブラ - 第4部：クラスII、III軽量電気自動車(LEV)用の交流、直流、交流/直流車両カブラの寸法互換性要件</p> <p>電動二輪、電動自転車(EPAC)などの軽量電気自動車(LEV)のコンダクティブ充電用交流、直流、交流/直流車両カブラの寸法互換性要件に関するスイスの以前否決された提案の範囲を狭めた新規の再提案。</p> <p>今回提案されたのは、Rosenberger 社製の車両カブラで、共同利用 EPAC・電動二輪の公共充電ステーションにおける急速充電用車両カブラを国際標準化する事が主な狙い。</p> <p>2013-11-01</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ JARI 電池充電標準化 WG/LEV 充電 SWG にて、小型 EV・電動二輪・EPAC 業界メンバーによって検討した結果、以下の理由により反対する事とした。 <p>(コメント)</p> <p>市場への影響範囲が不明である。今回の提案形状が国際標準化された場合、今後の日本の電動自転車の販売状況に影響が及ぶ懸念がある。</p> <p>提案されている形状で国際標準化することは、車両カブラとしての製品実績が無く、電動二輪などの直流急速充電用に使用した場合、過熱等の懸念がある。</p>	反対	あり